

教育基本法  
学校教育法  
学習指導要領等

生徒・保護者・  
地域の願い

- ① 豊かな人間性を養う
- ② 自主・協力の態度を養う
- ③ 創造性を養う
- ④ 健康な心身を育てる

かわさき教育プラン  
「自主・自立」「共生・協働」  
・キャリア在り方生き方教育  
の推進と実践  
・生きる力（知・徳・体）  
を伸ばす  
・支援教育の推進  
・学校教育力の向上

【学校経営方針】

社会の一員として自立して生きる力を育てる

同僚性  
チームワーク

豊かな心の教育  
の推進

授業改善に向けた  
教育の推進

健康・安全  
教育の推進

開かれた学校  
づくりの推進

【中期経営目標】

- 基本的生活習慣の確立
- 自己有用感を伴う自己肯定感の醸成
- 自他共に命を大切に作る心の育成
- 人権教育の推進

- 学習内容の定着
- 主体的に学習に取り組む生徒の育成
- キャリア在り方生き方教育の推進
- ICT・情報教育の推進

- 健康的で安全に生活できる力の育成
- 危機意識の高揚と防災教育の充実
- 学校環境整備の推進

- 地域に信頼される学校づくり
- 家庭・地域の連携
- 学校評価の推進
- 小学校との連携
- 特別支援教育の推進

【短期経営目標】

- ルールやマナーの定着
- 校内いじめ防止対策委員会の充実
- 道徳教育の充実
- 自尊感情を高める教育活動の工夫（達成感）

- 授業力向上
- 広報活動の充実
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- 学習習慣の確立
- キャリア在り方・生き方教育の実践・充実

- 健康・安全教育の充実
- 給食・食育・安全に関する指導の推進
- 危機管理体制の確立と防災教育の推進
- 定期的・継続的な校内点検・整備作業

- 家庭・地域と連携した活動の推進
- 小中連携の工夫
- 学校評価の推進
- 支援教育の視点に立った教育活動の展開
- 適正な会計事務

【具体的な取組】

- 挨拶や身だしなみ時間管理や清掃活動の徹底
- 特別活動等を通して自己有用感を伴う自己肯定感を育てる
- 生徒の主体的な活動の充実
- 教育相談週間や日頃の相談活動の充実とともにいじめの早期発見・対応
- 特別の教科 道徳を要とした命と向き合い豊かで強い心を育てる授業の実践
- いじめを許さない雰囲気づくり

- 学びの過程を振り返り、新たな学びへの見通しにつなげる
- 学習環境の整備と授業規律の確立
- 学び合いが実感できる授業実践
- 各教科・各領域でキャリア教育の日常的な推進・実践（横断的な関わり）
- ICT機器の活用を図る
- 家庭学習の習慣化
- 共生\*共育プログラムの活用と効果測定
- 学校・学年だよりの定期的な発行とHPの充実

- 関係機関と連携した健康教育・安全教育の計画的な実施
- 給食に向け食育及び心身の健康保持増進に関する指導の充実
- 避難・防災・災害図上訓練等を消防署や地域と連携し計画的に実施することを通して、防災危機管理意識を向上と主体的行動の確立
- 生徒活動等を通して校内環境の整備・美化の充実

- 保護者・地域関係者が参加しやすい行事・授業参観の実施およびアンケート実施と集約
- 地域と相互連携・協力した取組
- 小中連携の取組の充実・発展（9ヶ年の学びの継続）
- 支援教育の推進をめざし、交流・入り込み等、計画的な推進と実践
- ユニバーサルデザインを意識した授業の工夫
- 学校公開日等を活用した学校評価の工夫と充実

## 本年度の指導に当たって

世の中を見渡すと、先行き不透明な社会情勢や世界情勢があります。そして、自然災害や新たな感染症の発生、グローバル化やAIなどの進歩により社会環境は日々変化しています。

また、今日の教育における課題として、いじめ、不登校等の生徒への対応、特別支援教育の充実、外国人児童生徒への対応、子どもの学力低下への対策、家庭の貧困による教育格差などがあります。そういう時だからこそ、教育の力は重要なのだと考えています。つまり、未来社会を生き抜いていく子どもたちに対して、責任ある教育の実践を進めていくことが今、私たちに課せられた大きな責務だと思います。様々な教育課題の中、教職員が一丸となって、「田島中学校学校経営計画」の学校教育目標達成に向かって、力強く前に進んでいきたいと考えています。

### 【生徒に身につけさせたい課題】

「自己有用感を伴う自己肯定感の醸成」

- ①生徒が様々な場面で活躍できる場を設定すること。(学校行事、特別活動、体験学習等)
- ②結果がどうあれ頑張った事実を認める。褒めて個々の可能性をのばしてあげる

「学習内容の定着」

- ①教職員の授業力向上(GIGA端末の活用)が重要であること。
- ②家庭学習の定着を図ること。

### 【子どもたちの成長・発達に必要なもの】

- 子どもの内面を理解し、それにふさわしい関わりを持つとうとする教師の眼差しは、子どもへの素晴らしい贈り物である。
- すべての子どもが、教師からのあたたかい眼差しを必要としている。
- あらゆる教育活動の場において、子どもの内面理解を深めながら、個々の子どもが持っている良さや可能性を引き出し、さらに個性が発揮できるように支援・指導する。
- 日々の声かけ、信頼関係づくり、褒める、認める、共感する。
- 全体に対しては、白黒をつける指導をするが、個々にはグレーゾーンが存在することもある。
- 学校行事や体験活動などを通して、生徒一人一人を尊重し、共に感動を共有する。

### 【現場の課題】

本校でも「いじめ防止対策」「不登校対策」「インターネットやスマートフォンの問題」そして、「グループワーク上でのトラブル」「誹謗中傷や悪評の書き込み」「なりすまし」「誘い出し」「出会い系」「自撮り写真の交換」など学校では対応しきれない問題が山積んでいます。

こうした様々な課題に対しては、絶対に一人で抱え込まないこと。ただ、担任として、学年の職員として、「やるべきこと」「できること」「関わりを持つこと」に努めてください。

そして、関係諸機関との連携、早期解決に向けて組織として取り組むことが必要であり、全職員への周知し、多方面からの確、迅速に対応できる「組織づくり」が重要です。

そのためにも、教職員同士のコミュニケーションを大切にし、学校のチーム力を高めることを目指していきたいと考えます。

そこで、今年度も…。支援教育・人権尊重教育・道徳教育

### 【心構え】

- ・「あきらめない、切り捨てない、見捨てない」愛情ある粘り強い指導。
- ・教職員の「あいさつ」「言葉づかい」を大切にする。
- ・愛情をもって生徒に寄り添い、丁寧な指導・対応を心掛ける。
- ・教職員の仲間意識。

### 【受信する「アンテナ」ではなく、探索する「ソナー」】

○何よりも生徒の身近にいる私たち教員が…。

- ・電波が届くのを待つだけの「アンテナ」ではなく、こちら側から積極的に電波を発して対応する。
- ・異常事態を探索。「ソナー」を持たなければならない。

大切な子どもを預かる訳ですから、生徒の安全・安心を最優先し、社会に出て行くために必要な様々な力を、教育活動を通して、身につけさせていきたいと考えていますので1年間、力を合わせて、全力で大切な子どもの「支援・指導」に当たっていきましょう。

### 【スローガン】『チーム田島』で取り組もう！

元気な田島！「あいさつ・思いやり・学び合い」

- 元気なあいさつで笑顔あふれる学校
- 思いやりあるいじめのない学校
- みんなで学び合う楽しい学校